

五分館だより

第3号

豊丘村公民館
第五分館
編集 社会部
印刷 龍共印刷(株)

堀越区の今日
人口 420人
世帯数 96戸
(S63.9.1現在)

堀越松茸観光十五周年

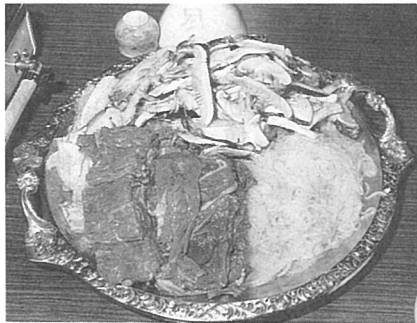
増々の躍進を期待

今年も松茸観光が始まった。今年は十五周年となり、九月二十五日の初日に、村、報道機関、歴代区長、観光委員長、わかば会初代会長、台所にたずさわった人の代表、部落長などを迎え記念式典が行なわれた。今年も松茸も豊作、松茸も十五周年を祝っている。

今年、二百万円近くをかけて、区民会館の台所も広げ、外では、大型バスの駐車場とトイレが出来上がり、秋の味覚を楽しむお客

様を、迎え入れる事が出来る様になった。

十五年たった松茸観光も最初の年のお客様は、二百人前後であったのが、今で



すき焼き 6,500円コースの盛りつけ

十八年間茅野市に御世話になり、家の事情で今年の三月末に、一家四人帰って来て六人家族となり、親父や母親は賑かくなると喜んでいます。

自分としても、やって行けるのかと心配になる事もありますが。幸い近所にりんごを作っている先輩達が居るので、色々聞いたりするのですけれど、まだ良くわか

なりました。やっぱりサラリーマンの方がいいなあーと……。給料は毎月入って来るし、農業は一ヶ月草刈りや、りんごをしたから、いくらになる、という事も

茅野では、木工機械の販売修理、帯鋸の目立等の会社に居ました。色々と、

郷里に帰って

畑違いの仕事で心配

福島 昭治

人生勉強もさせてもらいました。

さて、家では主にりんごを作っています。今までの仕事とは全然畑違いで、何もかも全然わかりません。

らないのが現状です。又、自然相手の仕事だけに、大変な事とつくづく思います。

休日はあるが無様なものだし、時間は長いし、最初の頃なんか、つくづく嫌に

そう考えれば……。色々考えても、どうにもなるものでもないし、色々経験をjしてやるしかないと思っています。

◇

お知らせ

来たる11月5日(土)、農休日
を兼ねて、グループ発表を行ない
ます。

子供向けのアニメと、大人向けの物の二本の映画、各種グループの趣向を凝らした展示、発表と、盛大に行ないます。

晩秋の一夜、日頃の忙しさを忘れさせてくれ、充分楽しめるもの
と思います。ご近所誘いあって、
大勢参加して下さい。詳細につい
ては後日、パンフレットを配布い
たします。

苦労話では、毎年茸のやりくりが大変で、出ない年はもちろんの事ではあるが、今年のように沢山出る年も、苦しいとの事。

最近では上手になったが茸の保存方法がなかなか難しく、最初は、腐らせそうになる事も、しばしばあった様子。

それより、委員の方の口からは出なかったが、家の仕事を犠牲にして、出勞する事が、一番ではないかと見うけられた。

これからの方向としては近い将来に、今の状態から飛躍させなければならぬ。それは、今シーズンが終わって、反省する中から探して行くとの事です。

ここまで大きくなった、観光事業、地元で落ちる金も、かなり大きなものであると思う。堀越にある産物を、有効利用して、観光部を築き上げて悪くはない。あまり観光に走ると、

各種球技大会結果

★農休日部落対抗球技大会
七月三十一日

《ソフトボール》

優勝 駒 沢

準優勝 西 部

《インディアカ》

優勝 西部 A

準優勝 中宮 C

《ゲートボール》

優勝 西 部

準優勝 東 B

★分館対抗球技大会

八月十四日

ソフトボール 優勝

野 球 第二位

バレーボール 第三位

★ナイターソフトボール

豊リーグ第五分館 優勝

黒谷箋

今年もいよいよ茸の季節となりました。ソウルオリ
ンピックで、日本がどれだ
けメダルを取るかも気にな
りますが、茸も『出るか出
ないか』気になる所です。

聴く所によれば、『堀越の長期計画』といった未来図造りが盛んに叫ばれた頃があり、その中には、現在堀越の目玉である『茸観光』や、今は整備された『天神公園』などが盛り込まれてあったそうです。こうなったらいいなと思う姿を着実に実行してきた此の地区の皆さんの底力に素晴らしさを感じます。それは先輩諸氏が蒔かれた種が成長し、今まさに実のりの秋を迎えたのでしよう。その実を収穫させていたでいる私達は、来春に向けて、新たな種を蒔くべく、その準備にかからなくてはならない時期になりました。

今の小学三年生が、二十歳になる年は、二十一世紀になります。バラ色のような未来に思えた二十一世紀がやって来ます。それは此の地区にも、確実に、高齢化と過疎化がやって来る時代です。その時私達は、どんな、わたしたちで、いたいか……。

〔北林 弘〕

出し物も豊富、納涼大会 見るより踊るが最高

八月十四日、毎年恒例の納涼大会が堀越区民会館の庭で行なわれた。
今年は櫓が新しくなり、分館役員による夜店も沢山出て多数の区民、区出身者で大いに賑わった。



新しい櫓のまわりで盆踊り

飲み放題三百円也のビール、飲まなきゃ損々、飲兵衛の私は、準備が出来てないうちから待ちきれず出掛けて行きました。
真新しい立派な櫓が造られました。回りで踊る人達は今一でちょっと残念に



楽しかったスイカ割り

思いました。私も酔った勢いで思いきって踊りの輪に入ってみました。そんな私を見て、「ガマ蛙の炭坑節」とさぞやおかしかったであろうと思われる。それでも踊っている時の気分は、ちょっといいもんです。

昔語り

(その2)

一方勤労意欲旺盛で生まじめな人達を集めて斯民会と云うのを結成した。勿論先生が中心である。夜間会員の家を廻り番に廻り藁細工に精を出した。先生自らも縄縄いに精出したとの事である。夜業を終えてから

斯民会が呼びかけ

堀越報徳社を結成

武田 寛

中央で発行されていた斯民と云う雑誌を購読して、二宮翁夜話の研究に励まれた。この斯民という雑誌、私も一度お借りしてみた事があるが仲々お堅い雑誌と臆げながら記憶している。

を結成された。初代社長には推されて河野桂之進氏が就任され、毎月開く常会の宿は社長宅を提供して下さい。常会には各種報徳金(土台金、善種金、加入金)を集めた後、運営上の協議をしたり、二宮翁夜話の研究

先生は在任八年、本谷校長として栄転された。一分校の教員から小なりとは云え小学校校長への抜擢は全く異例の事だったらしい。その後斯民会の皆さんが発起人となり区内の有力者同志に呼びかけ堀越報徳社

究その外だった。報徳の教の根幹は「神徳、皇徳、父母祖先の徳に報いるに我が徳行を以てす」の一語に尽きる。その徳行の手段として(勤儉、貯蓄、分度、推譲)と云う事がやかましく云われた。報徳の教は知る事なく実行する事である。分度、推譲には解説がない。分度と

は有名な孔子の言葉(我法を越えず)でもあろうか。自分をよく知り不相応のこととはしない事である。推譲とは一口に云えば勤儉大いに努め余力を公の為に捧げる事である。
〔次号へつづく〕

子供祭り行なわれる 保育園児から中学生まで和気あいあいに

夏休みも半ばという、去る八月九日、午後三時より天神グラウンドに於て、保育園児から、中学生までの親子総勢百余名に依る子供祭りが、育成会主催で行われました。
飯盒炊さん、花火大会、フォークダンス等、中学生が中心となり、縦のつながりを大切に

やっぱり見るより踊るものなんだなと思いました。
年々納涼大会の出し物も多く、暑い中での焼イカ、焼鳥、輪投げ、金魚等々、役員の方々は企画から準備後片付けにと大変御苦労であつただろうと推察致します。おかげで今年も昨年以上に人が集まったように思いました。帰省客や又親戚の人等滅多に逢うことのない顔もあり、懐しく話が出来ました。
このように老若男女を問わず区民全員が参加し協力して、年に一度の納涼大会が、もっと盛会になり区民のコミュニケーションの場所となるよう祈ります。今年の納涼大会は成功だったと思います。 宮下栄吉

長寿 堀越一



堀越常のさん 96才 (北林)

人間はだれでも長生きをしたいと願うものです。そこで今回は堀越の女性で最長寿の堀越常のさん、男性では松村弘夫さんを御紹介します。

堀越常のさんは堀越で最も長寿で、明治二十五年八月三十日生まれ九十六才

そして、常のさんの実姉は百三才になると聞いています。
以前から耳は遠かったみたいですが、テレビは大好きで、一日中見ているそうです。
最近、目も余り見えなくなり、脚も弱くなって寝たきりの生活をしています。動物が好きで特に、猫は布団のそばで寝起きをするほどなついているそうです。

耳も足もまだまだ大丈夫で「気にいらん事は聞えん事にしておくん」と冗談を言われるくらいです。
長生きの秘訣をお聞きすれば、酒をあまり飲まず、腹いっぱい食べないよう

気をつけているそうです。そして天気の良い日は外に出て、前手の畑の手入れをして、とにかく運動がてらに体を動かす事に心がけているそうです。

います。手を貸し、先回りして、子供が転ばない様にしているのが、親の愛ではないはず。転んでも自分で起き上がるだけの力をつけてやりたいと思います。そんな意味から、今回育成会で計画して戴きましたこの企画に、大変感謝し、準備に奔走して下さいました役員の皆様心より御礼申し上げます。そして、この企画が更に発展し、子供達自らの活動になる事を期待します。 三沢美保子



松村弘夫さん 88才 (久)